

令和7年（2025年）度 年間授業計画（シラバス）									
学年	1	学科	全学科	単位	2	教科	国語	科目	現代の国語
学習教材		・標準 現代の国語（第一学習社） ・標準 現代の国語 学習課題集（第一学習社） ・ニューフェーズ現代文1（第一学習社）							
学習目標		（1）言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。 （2）実社会に必要な国語の知識や技能、論理的に考える力を身につける （3）共感したり想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を育む。 （4）我が国の言語文化の担い手として、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。							
単元と学習内容									
1 学 期	世界を広げる 「世界は謎に満ちている」 言葉が開く世界 「言語としてのピクトグラム」 書いて伝える 「書き方の基礎レッスン」 話して伝える 「話し方の工夫」			・「世界は謎に満ちている」ことを説明するための工夫を、文章構成や取り上げられた事例から把握する。 ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・表記や表現の基本ルール、接続表現の種類や用法、比喩などの表現技法を理解する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴、相手・目的・場面に応じた言葉遣い、より伝わりやすい表現方法を理解する。					
2 学 期	読書レポートの発表 人間と文化 「水の東西」 現代と社会 「黄色い花束」 書いて伝える 「実用的な手紙文の書き方」 話して伝える 「情報の探索と選択」			・自分の読んだ本について読後の感想をまとめて発表する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・コソボの話題と筆者の子供時代の話題との関係を把握し、子供たちに対する筆者の思いについて考えを深める。 ・実用的な手紙文として依頼文と案内文の書き方を理解し、実践する。 ・相手に情報を適切に伝える文章の書き方を習得する。 ・必要な情報の探索方法、情報の信頼性や妥当性の吟味の方法を理解し、情報の探索や選択を実践する。					
3 学 期	生活の中の表現 「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 話して伝える 「スピーチで自分を伝える」 書いて伝える 「地域の魅力を紹介する」			・資料に書かれている文章を読み、改訂内容をまとめる。 ・自分の意見を大勢に分かりやすく伝えるスピーチの方法を考え、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する。 ・地域の魅力の紹介を通して、必要な情報や資料を収集したり整理したりして、分かりやすい紹介文を書くために活用する。					
評 価									
評価の観点		到達度目標「B」（おおむね満足できる）の規準				評価のフィードバック			
						1期末	2期末	学年末	
①	知識・技能	・基本的な語彙力を身につけることができたか。 ・論理的な思考力や判断力、表現力を支える基本的な文法や語句の知識を正しく理解できたか。				○	○	○	
②	思考・判断・表現	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法が理解できたか。 ・自分の考えをまとめ、的確に論述したり話したりする方法を身につけられたか。				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	・学習活動を通して我が国の言語文化の伝統に目を向け、自分自身の生活を振り返ることで、現代社会の様々な課題や要請に向き合う態度を育み、それらを言葉によつて的確に捉えようとしたか。				○	○	○	
評価方法	①			②			③		
	㊦定期考査 ㊧小テスト ㊨授業で用いたワークシートなど			㊦定期考査 ㊩学習活動の成果（作品など） ㊧小テスト ㊨授業で用いたワークシートなど			㊦活動観察 ㊩学習活動の成果（提出物、作品など） ㊨授業で用いたワークシートなど		

